

第3学年 単元名「もっと知りたい、友だちのこと」

学習の内容

- よい質問や質問の仕方を学ぶ。
 - ・相手の話をもっと詳しく聞くために、どのような質問をするとよいか考える。
- 学習したことを生かしてトークタイムを行い、振り返る。
 - ・グループで「トークタイム1」を交互に行う。（友達の話を聞いて質問や感想を言うグループ・聞くグループ）
 - ・グループで「トークタイム2」を交互に行い、質問の仕方や心に残ったことについて振り返る。
- 友達の話を聞いて心に残ったことを友達紹介カードに書き、伝え合う。
 - ・単元の学習を振り返り、話を聞いて質問するとき大事なことを考える。

スピーチメモ

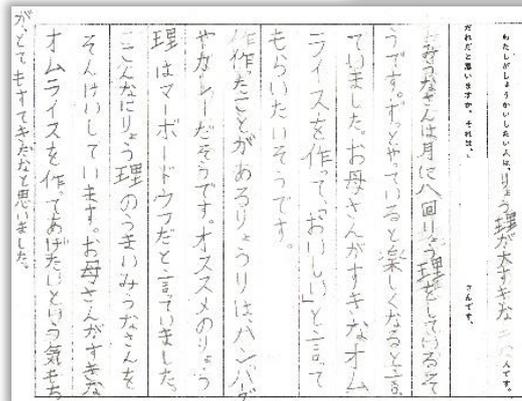
はじめ
お母さんが リョウマ理
中
月に8かいぐらいいや、 ている。 すてかいてたり楽し くなる。
おわり
お母さんが好きなオムラ イを作ったおいしい て言ってもらいたい

【トークタイム】1班3～4人で、2班合同。

- **話す・質問するグループ**
(話す児童の友達紹介を書く児童がメインで質問する。)
- **撮影・記録するグループ**
(必要に応じて質問してもよい。1人は撮影担当。)



友達紹介カード



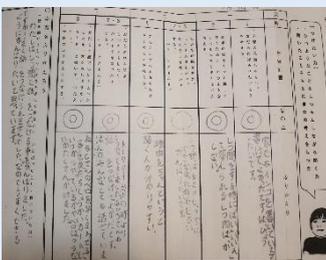
友達紹介（スピーチ）



相手意識・目的意識の 明確化

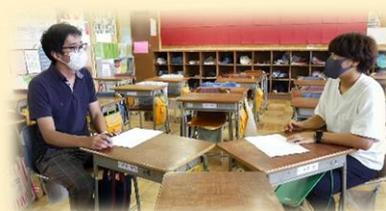
ゴールを友達紹介とし、友達のあまり知られていない一面を質問して探り出し、伝え合う言語活動を設定したため、目的意識をもち、最後まで意欲的に学習に取り組む児童の姿が多く見られた。

↓見通しがもてるワークシート



自信をもって表現できる ようにするための工夫

児童に活動のイメージをもたせ、よい質問や質問の仕方を考えさせるため、引き出したい視点を予め考え、バッドモデルとグッドモデルの2種類の動画を作成し、見比べさせた。よりよい聞き手になるためのポイントを児童から引き出すことができた。



振り返りと 学習評価の充実

十分に質問できたかを振り返らせるために、2グループでトークタイムでの様子をお互いに見合ったり、振り返ったりする場面を設定した。自他の成長を感じられるよう、トークタイムは同じグループで2回実施した。振り返りや自己評価から、1回目よりも2回目の方が上手く質問できたと感じた児童が多かった。Chromebookのカメラ機能を利用し、グループごとにビデオ撮影や視聴を行ったことも効果的であった。